

4. トラブルとその対応事例

4-1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

事象分類別 (a. 詰まり・堆積)

1-18. 高レベル廃液濃縮缶から溶液を移送するスチームジェットにおける詰まり

<p>事象の概要</p> <p>(1)発生場所：機器</p> <p>(2)設備の概要</p> <p>(3)発生の状況</p> <p>(4)概要</p> <p>(5)原因</p>	<p>分離建屋：高レベル廃液濃縮缶のスチームジェット</p> <p>高レベル廃液の濃縮・減容のため、蒸発処理を行う装置。</p> <p>高レベル廃液濃縮缶の冷却中（濃縮終了後の液移送中）</p> <p>高レベル廃液濃縮缶底部に堆積した沈殿物により、濃縮液の移送用スチームジェットおよび吸い込み配管が詰まり、濃縮液の移送が停止。 * 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p> <p>運転を継続することで発生する詰まり（予め対応手順を定めている）。</p>												
<p>事象による影響</p> <p>(1)工場外への影響</p> <p>(2)安全性への影響</p> <p>(3)作業員への影響</p> <p>(4)他工程への影響</p>	<p>工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する分離建屋の塔槽類廃ガス処理設備が稼働している高レベル廃液濃縮缶での事象およびそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>安全上の問題は生じない。 詰まりの発生したスチームジェットによる高レベル濃縮缶の濃縮液移送は出来なくなるが、スチームジェットは2系統を有しており、別系統に切り替えての液移送が可能である。また、高レベル廃液濃縮缶は冷却中であるため、濃縮液の移送が停止しても安全上の問題は生じない。</p> <p>作業員への影響は生じない。 スチームジェットおよび吸い込み配管の詰まり除去は、定められた放射線管理計画書に従って作業を進めることにより、放射線による作業員への影響は生じない。</p> <p>他工程への影響は生じない。 スチームジェットは2系統を有しているため、別系統に切り替えて移送を行うことにより、他工程への影響は生じない。</p>												
<p>対応の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.別系統のスチームジェットに切り替えて移送を完了させる。 2.スチームジェットに詰まりが生じていることを確認する。 3.定められた操作手順に従って、スチームジェットへ供給する蒸気配管から洗浄液（温水、硝酸等）を供給し、沈殿物を除去する。 4.それでも除去出来ない場合は、定められた保守作業手順に従って、フリーズバルブを使用して氷栓を形成したうえで洗浄液の供給等を実施することにより詰まりを除去する。 												
<p>公表区分</p>	<p>毎月集約して月1回公表（ホームページへ掲載）</p>												
<p>連絡区分*</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 33%;">A 情報</td> <td style="width: 33%;">B 情報</td> <td style="width: 33%;">C 情報</td> <td style="width: 33%;">ごく軽度な機器故障</td> <td style="width: 33%; background-color: #e0ffe0;">清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td> <td style="width: 33%;">不適合等</td> </tr> </tbody> </table>	トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報										
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等								

*：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

事象概要

